授業科目(ナンバ	リング)	更生(呆護論(DB	404)	担当教員		金澤 由佳	
展開方法		講義	単位数	1 単位	開講年次・時期	4年・前	前期 必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の 類 型	
更生保護とは犯罪や非行をした人の立ち直りを支援し、再び犯罪を起こさぬように支援する営みであり、福祉でいう自立支援にあたる。 人間は変わることができる、との信念のもと、犯罪や非行をした人を支援する更生保護に付し、司法だけではなく福祉・生活支援が加わることにより、彼らもまた人として生きていける共生社会をいかにして構築していくべきか、また専門家としてどのように関わり支援していくかについて考え、実践できる専門家となることをねらいとする。								(1)(4)(5)(6)
ホスピタリティ を構成する能力		学 生	この授業	におけ	る到達目標		評価手段・方法	評価比率
専門力		護制度の仕			理解できる。その	うえで社会	定期試験	60%
情報収集、分析力	更生保とができ		する課題に	こついて情	報をもとに実践をク	分析するこ	議論、発表	20%
コミュニケーシ ョン力								
協働・課題解決 力	む力を狙	嬳得する。			とめ、授業中に協働 I 論し述べることがで		授業態度	20%
多様性理解力								
			出	席			受験要	其件
			合	計			100%	%
莎伊里维亚亚新伊亚矶 十进办法口部田								

担当数昌

全澤 由佳

評価基準及び評価手段・方法の補足説明

定期試験は持ち込み不可の筆記試験(60%)とする(問題には、国家試験過去問題も含む予定である)。授業への積極的な参加態度(40%)で評価する。授業終了時にリアクションペーパーを配布し意見を書いてもらい(出欠確認に使うこともある)、次回授業の冒頭に口頭によってフィードバックを行う。

授業の概要

・相談援助活動において必要となる更生保護制度について理解する。

授業科日(ナンバリング) **国生保護論(DRAOA**)

- ・更生保護を中心に、刑事司法・少年司法分野で活動する組織、団体及び専門職について理解する。
- ・刑事司法・少年司法分野の他機関等との連携の在り方について理解する。

グループディスカッションも取り入れる。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。

教 科 書 · 参 考 書

教科書:社会福祉士養成講座編集委員会編 「新・社会福祉士養成講座 20 更生保護制度 〈第 4 版〉」中央法規、 2017 年

参考書:とくに指定しない。

指定図書: 社会福祉士養成講座編集委員会編 「新・社会福祉士養成講座 20 更生保護制度 〈第 4 版〉」中央法規、 2017 年

授業外における学修及び学生に期待すること

予習・復習として、教科書の該当箇所を読んでおくこと。その際、予習内容に対して疑問を具体的に想像しておくこと、また復習では知識の定着を心がけておくこと。そして、本科目が国家試験の受験科目の1つであることを忘れず真剣に受講してほしい。

口	テーマ	授 業 の 内 容	予習・復習
1	オリエンテーション 更生保護制度の概要①	授業の進め方について説明をする 更生保護を学ぶ目的、意義を理解する 刑事司法の中なかの更生保護について学ぶ	予習:pp.2-14 復習:pp.2-14
2	更生保護制度の概要②	仮釈放等、保護観察について学ぶ	予習:pp.15·36 復習:pp.15·36
3	更生保護制度の概要③	生活環境の調整、更生緊急保護について学ぶ	予習: pp.37-49 復習: pp.37-49
4	更生保護制度の概要④ 事例検討		予習:pp.50-60 復習:自分の意見をまとめ る
5	更生保護制度の担い手	保護観察官、保護司、更生保護施設、民間協力者に ついて学ぶ	予習:pp.62-76 復習:pp.62-76
6	更生保護制度における関係機 関・団体との連携		予習:pp.78·101 復習:pp.78·101
7	医療観察法の概要	医療観察法の成立、施行について学ぶ 生活環境の調査・調整、地域社会における処遇、関 係機関等との連携について学ぶ	予習:pp.104·115 復習:pp.104·115
8	更生保護制度の実際と今後の 展望 事例検討	保護観察官、社会復帰調整官について学ぶ 更生保護の今後の展望について学ぶ 更生保護に関する課題について、ディスカッショ ン、発表する	予習:pp.118-145 復習:自分の意見をまとめ る
9	定期試験	教科書、配布資料の中から出題する。	